

のうがくかい

# 「なごやか農楽会」だより 67号

2021.8月(秋)号



名古屋市最高峰「東谷山」のふもとにあるもりやま支部援農先  
「天空のアグリパーク」のブルーベリーです

- ◇ なごやか農楽会からのお知らせ  
～ 研修会の中止 ～  
～ 会費未納の方 農楽会会費振込のお願い ～
- ◇ 援農作業予定 (9～11月)
- ◇ 援農作業実績 (5～7月)
- ◇ 農家さん紹介／あいちの伝統野菜など

## なごやか農楽会からのお知らせ

なごやか農楽会 本年度の研修会中止について

本年度の研修会は、「キッチンガーデン、農家レストランたまねぎを運営する郊外田園クラブ下田ビレッジ」訪問を検討しましたが、コロナ感染症が拡大する状況で密を避けた状態での開催はむつかしく、本年度の研修は中止としました。

なごやか農楽会だよりは、名古屋市農業センターのご協力により発行しております。

# なごやか農楽会からのお知らせ

## 本年度会費未納の方 会費振込のお願い(重要)

全ての会員に会費(1,000円)の振込み(ゆうちょ銀行(振替))をお願いしております。

ゆうちょダイレクト(インターネットバンキング)・ゆうちょ銀行口座からのATMでの振替が振込費用が安くてきます。

ゆうちょ銀行口座から振替も利用できます。

会費未納の方お手数をおかけいたします。

よろしくお願ひいたします。

なお、ゆうちょ銀行の自分の口座以外からの振替の場合振込人名がわかるようにご依頼人名欄になごやか農楽会会員のお名前を忘れずにご記入下さい。

振込(振替)先等は次のとおりです。

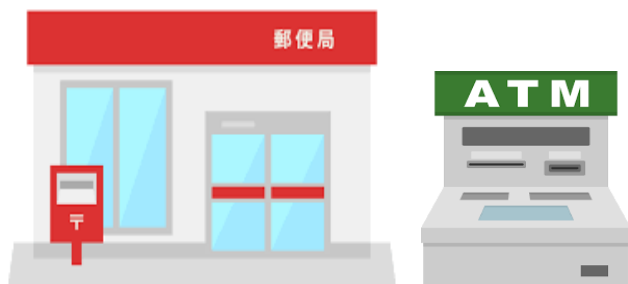
振込先: ゆうちょ銀行(記号12100)記号・番号の場合

口座名: なごやか農楽会

種類: 普通預金口座(番号68446931)

(他銀行からは、店番218—普通預金6844693)

## ご自分のお名前も忘れずに



## 評議会報告

報告・審議・検討事項の概要

5月度会議(5月8日開催)

コロナ対策についての農楽会の方針を確認した。

- ① 援農作業の場所に「ウイルスを持ち込まない」
  - ② 援農作業の場所で「拡大させない」
  - ③ 援農作業の場所から「持ち帰らない」を農楽会の方針としたい。
- ②③は農家さんとの連携・協力が必要だが、①は自分たちでできること。「ウイルスを持ち込まない」を徹底したいと思う。支部により援農参加の手順が異なるが援農参加が早めにわかる支部では参加が決まったときから日々体温を測り、熱がある時は参加しない等のルールを各支部で検討することとし、まず、援農参加にあたって必ず体温を測ることとした。マスク、手洗い等日常の対策は各自において当然行うことを前提とする。

(1) 令和3年度 研修について

コロナ感染度合いにかかわらず研修は中止する案が過半数となったため今年度の研修は中止とする。

(2) 総会の反省について

総会参加人数は午前、午後の合計で80名であった。午前の部において参加者集計報告が無かった。総会資料は郵送者分を含め140部作成したが、残った部数が少なく、計算が合わない。重複して渡した可能性がある。

(3) 2021年度評議会担務(会長、副会長、支部長、事務局長、副事務局長、援農塾リーダー、会計、会計監査の業務内容について)について資料に基づき説明した。

(4) 2021年度評議会活動予定について

今年度の評議会開催月日・育成講座における評議会説明会実施日・農業まつり参加・育成講座修了式・交流会実施日について説明し、了解。また、農業センター様との打合せ、JAなごやか様との打合せ等を行う旨を説明し、了解。

6月度会議(6月13日開催)

(1) 広報 HPをワードプレスで作る方向でいるが、使いこなすにはハードルが高そうでまだ進展していない。暫く続けてみる。

(2) 会計報告 5月31日現在、会費148名納入。未納は50名。

(3) 学生の農業ボランティアに関する卒業論文のため(農楽会会員アンケート等)の協力について協力依頼の経緯、依頼学生との打合せ(依頼内容確認等)について説明後、卒業論文のため(会員アンケート等)の協力の是非を検討し、協力することとした。

但し、各会員にメルアド等を学生に開示して良いか否かを確認し、承諾を得られた会員のみアンケートを依頼することとした。

7月度会議(7月10日開催)

(1) 事務局 6月末会員数は197名(3名減。復活1名、退会2名、休会2名である。卒論協力についての打合せを7月末頃行う予定。

(2) 20周年史の進捗状況等について

一部の工程で予定より遅れているが、概ね予定どおり進捗している。

会員による対談を9月、11月の2回行う予定。

1回目は黎明期の会員から話しをお聞きし、2回目は1回目の対談に参加頂いた会員の他、今援農活動の中心となっている会員や入会間もない会員に参加して頂き対談を行う。

2回目の対談に参加頂く会員の選定(9月末迄に各支部長に依頼した。

(3) 中間決算報告様式について

中間決算用の報告様式について検討し、承認された。10月の評議会に本様式で中間決算の報告を行う。

(本文は、なごやか農楽会ホームページの会員のページにあります)

## 援農作業予定 (9～11月)

### てんぱく支部

9月  
ニンジンの間引き

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。  
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に  
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に  
撮って下さい。支部長と相談の上。

10月  
サツマイモのつる切り・収穫

11月  
タマネギの植付け  
ミカンの収穫

### みどり支部

9月  
トマト苗定植

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。  
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に  
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に  
撮って下さい。支部長と相談の上。

10月  
トマト苗定植、トーン散布、下葉かき

11月  
トマト下葉かき、脇芽とり  
園児サツマイモ掘りの手伝い

## 援農作業予定 (9～11月)

### もりやま支部



援農作業のひとつコマ

9月  
野菜収穫、草取り、畑整理  
ワイン用ぶどうの収穫  
カラス対策用ネット・ビニール外し  
梅の剪定、堆肥施肥

10月  
野菜収穫、草とり、畑整理  
ぶどう蔓切り、枝切り、カラス対策撤去  
堆肥・もみがら運び、ブルーベリー剪定

11月  
野菜収穫、草取り、畑整理  
ぶどう蔓切り、誘引テープ外し  
もみがら蒔き、梅剪定

### 港・中川支部



トマト苗床の草取り

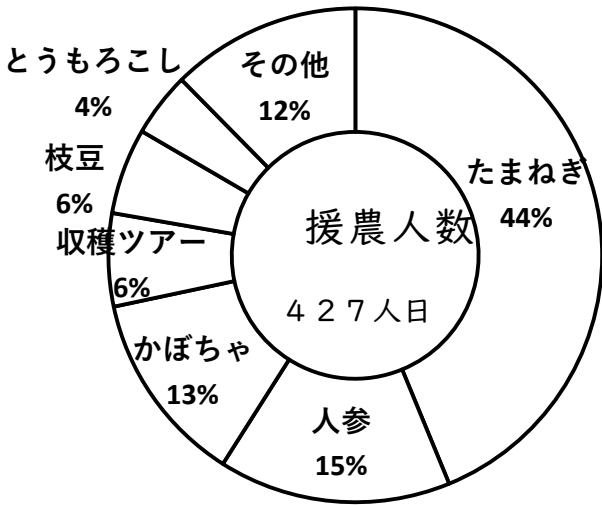
9月  
箱作り、ブロッコリー苗植え  
トマト苗床の草取りや清掃・片つけ  
ミツバ出荷準備

10月  
箱作り、かぼちゃの収穫・磨き  
トマト苗床の草取りや清掃・片つけ  
ミツバ出荷準備  
さつまいも掘り体験手伝い

11月  
箱作り、玉ねぎ定植  
トマトクリップ差し替え  
ミツバ出荷準備

# 援農作業実績 (5～7月)

## てんぱく支部



1人日=1人1日3時間の援農作業

支部会員へのお願い

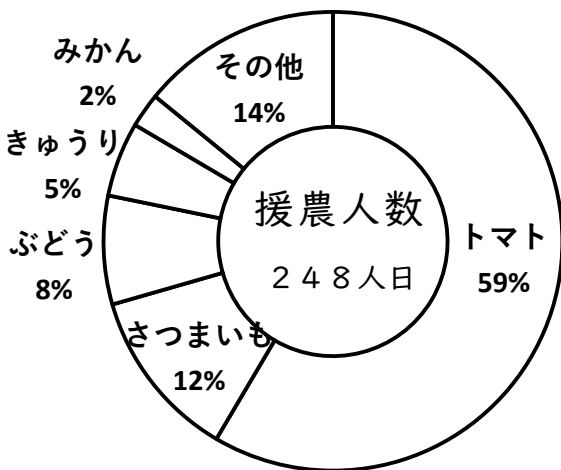
援農作業風景の写真を募集しています。  
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に  
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に  
撮って下さい。支部長と相談の上。

三か月間(5月～7月)の援農実績は、293人日。  
累計(2月～7月)は427人日。  
三か月間の援農先は、6農家。

援農作業は、玉葱収穫・皮ムキ・清掃分別  
かぼちゃマルチ土おろし・藁広げ・やご取り・  
ちぎり・ヘタ切り・洗い・つる切り・みがき等  
とうもろこし土寄せ、収穫ツアー、朝市手伝いなど

昨年同期(5月～7月)の援農実績 245人日  
昨年の累計実績は、385人日

## みどり支部



1人日=1人1日2時間の援農作業

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。  
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に  
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に  
撮って下さい。支部長と相談の上。

三か月間(5月～7月)の援農実績は、130人日。  
累計(2～7月)は248人日。  
三か月間の援農先農家は、4農家。

援農作業は、中玉・ミニトマト収穫・片付け・  
糸張り・誘引・ひも張り・草刈り・たい肥まき  
園児(年中、長)サツマイモ苗植付け手伝い  
ぶどう摘粒・袋掛け・花穂切り・誘引・まきひげ  
切り、きゅうり片付け、みかん植え等

昨年同期(5月～7月)の援農実績 123人日  
昨年の累計実績は243人日。



# 援農作業実績 (5～7月)

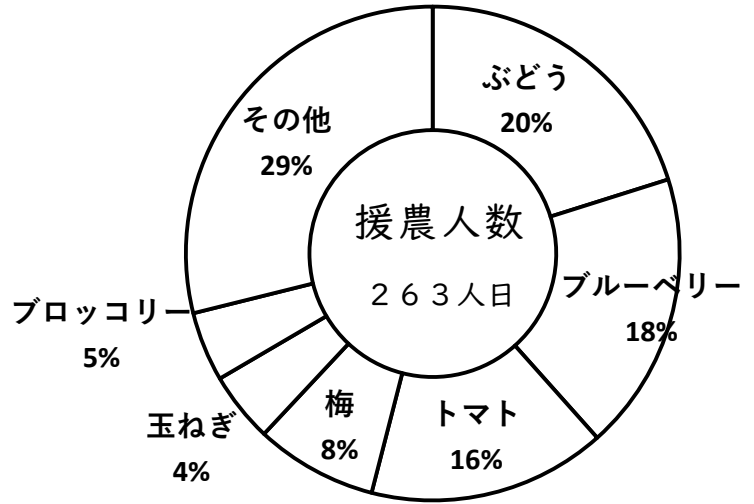
## もりやま支部

三か月間（5月～7月）の援農実績は、133人日  
 累計（2～7月）は263人日。  
 三か月間の援農先農家は、3農家。  
 援農作業は、トマト脇芽とり・下葉とり・収穫  
 ぶどう房作り・脇芽&つる切り・袋かけ・摘粒  
 梅剪定・収穫・袋詰め、ハウスビニール吊り  
 ブルーベリー鉢の植替え・マイカ線張り等

昨年同期（5月～7月）の援農実績 186人日  
 昨年の累計実績は336人日



ぶどうの援農作業



1人日=1人1日2時間の援農作業

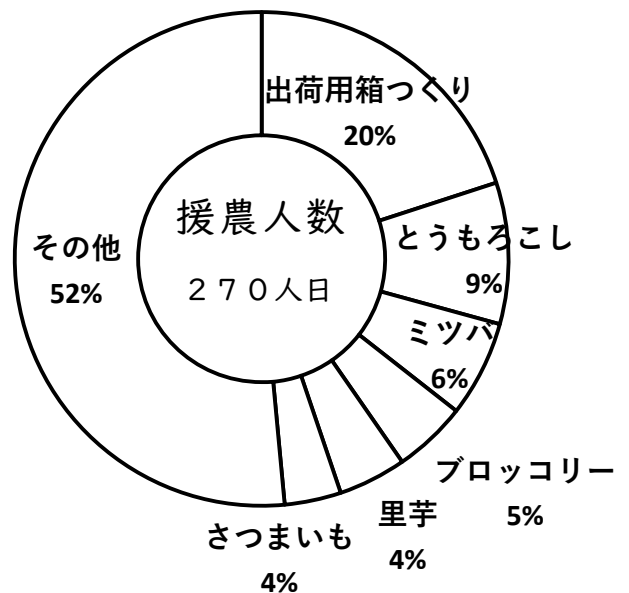
## 港・中川支部

三か月間（5月～7月）の援農実績は、149人日。  
 累計（2～7月）は270人日。  
 三か月間の援農先農家は、6農家。  
 援農作業は、出荷用箱作り、里芋の定植、ブロッコリーの収穫  
 トウモロコシ刈取り体験イベントの手伝い・草取り  
 さつまいもの植付け、大豆苗の定植  
 ほうれん草の播種・選別など

昨年同期（5月～7月）の援農実績 181人日  
 昨年の累計実績は336人日



戸田川緑地  
 親子マルシェ  
 ～農・食・子どもがつながる場所～  
 でのお手伝い



1人日=1人1日2又は3時間の援農作業

# 農家さん紹介

## プロフィール

今回は、森山昌彦さんを訪問しました。

農楽会発足時の農家メンバー森山優さんのご長男です。退職後、姉の久保田初美さんと2人で農業を継ぎ、ブドウ・みかんを中心に栽培をしています。2020年8月号掲載の阪野文明さんと従兄弟の関係で、趣味はゴルフです。



私は会社勤めをしておりほとんど父の手伝いをしていなかったのですが、承継時は失敗続きで大変苦勞をしました。父を手伝っていた姉に、農作業については多くを教わりました。近隣の農家から役に立つ資料や指導を頂きながら、毎日が勉強でした。うちは元々野菜を中心とした農家でしたが、旧天白村地区の田んぼの埋立て・区画整理事業の完了により、平成元年頃より果樹栽培に移行し、現在に至っています。後継者問題が悩みですが、サラリーマンの息子に農家を継ぐ意志があればうれしく思います。

さて、ブドウの大まかな作業は、12月に元肥をして土壌の準備、1月～2月に剪定、5月に花切り、6月～7月に粒抜き、7月中に袋掛け、8月中旬に販売をします。5月～7月には、消毒（殺虫、殺菌）を10日に1度行い、これが一番大変な作業です。ブドウには寒暖差が必要ですが、地球温暖化の影響を受け生産量が減少しています。今後はシャインマスカットの栽培への挑戦等、多品種化を図り変化に対応した作物づくりを目指していきたいです。ブドウは野菜と違い結実するまでに5年掛かりますが、30年近く実を付け続けてくれ、肥料もあまり使わなくて済みます。出来の良くないブドウは販売できずにジャムにしたりしますが、多くは廃棄処分しており残念です。果樹の販売先は毎年購入してくれるリピーターが8割で、残りの2割が収穫体験・グリーンセンターや現地での販売です。

ブドウの援農は難しいと敬遠せず、できる限り分かり易く指導しますので、少々失敗しても構いませんから援農活動に参加して下さい。



## はじめよう！ 家庭菜園(\*1)



今月号はマルチングです。マルチングとは植えた野菜の地表面をビニールなどで覆うこと。水分の蒸発・雑草や病害虫の発生を防ぐ効果があります。略して「マルチ」と呼ぶこともあり、昔からワラが利用されてきました。マルチングを行うことで、野菜が育ちやすい環境が出来上がります。

### 1. マルチングの目的って何だろう？

- ・土の乾燥を防ぐ
- ・急激な温度変化から守る
- ・雑草を防ぐ
- ・病害虫を防ぐ
- ・土が硬くなるのを防ぐ
- ・用土の流出を防ぐ

### 2. マルチングの注意点って何だろう？

- ・マルチングは雨上がりの後など土に水分が十分染み込んでいるときにいきましょう。
- ・肥料は追加で施しにくいので、植え付けるタイミングでたっぷり施しておきましょう。
- ・土の表面とマルチをぴったり密着させましょう。
- ・長年マルチを続けた土の中は有機物の分解が進んでいるので、堆肥をたくさん混ぜ込みましょう。
- ・水のやりすぎは植物が腐りやすくなるので、注意しましょう。

### 3. マルチングにはどんな種類があるの？

- ・黒マルチ  
主に雑草の抑制と保温の用途に使用されますが地温を上げすぎるので夏場は不向きです。
- ・白マルチ  
地温を抑える効果があります。
- ・透明マルチ  
特に春先の地温を上げ保温するのに効果的。雑草が生えてしまうので、駆除が大変になります。
- ・シルバーマルチ  
主に夏場に活躍するタイプ。太陽の光を反射し、害虫の飛来を防ぎます。
- ・腐葉土  
防寒や蒸発のほか、真夏に根の温度が上がり過ぎるのを防止する効果があります。
- ・ワラ  
腐葉土と同様の効果があり、腐食したら堆肥としても使用できます。雨など土の跳ね返りによる病気の予防にも有効的です。

(\*1) はじめよう家庭菜園は、なごや農業協同組合様が発行されるCITYなごやに掲載されています。なごや農業協同組合様のご承諾を得て、掲載しています。



# あいちの伝統野菜

今月号はメロンです。メロンは、アフリカのニジェール川沿いのギニアが原産地、または栽培の起源地とされています。インドが原産地との説などもあります。

古代にエジプト、中央アジアから中国へ広まり、これらの地域で重要な作物として栽培されたことは確かで、聖書などにメロンのことが書かれています。

ヨーロッパでは14～16世紀頃に栽培が盛んになりカントロップ、冬メロン、網メロンが成立しました。網メロンは、イギリスで温室メロンとして発展しました。アメリカは露地メロンとして発達し西海岸に近い地区は世界第一位の露地メロンの産地です。

紀元前3、4世紀の中国の書物に瓜とあり、相当古い時代に中国に伝わったと言われ、新疆省で栽培されているトルクスタン系の哈密（ハミ）瓜は味の良いことで知られています。メロンは雨の少ない地域を好むため中国西部（新疆など）で止まり、中央部・東部はその気候に適したマクワウリが成立しました。マクワウリ、シロウリはともにメロンの変種です。

愛知の伝統野菜でもメロンとマクワウリは別の伝統野菜として指定されています。マクワウリは別の号で紹介しています。



## あいちの伝統野菜

次号は白菜を紹介します

### 渥美（あつみ）アールスメロン



青皮のアールスメロン。ネットが細かく一面に入る。食味は優れ、香りがよく、肉質はきめ細かく舌触りがよい。

写真：あいち在来種保存会提供

わが国には有史以前に渡来したことは確実に弥生時代の遺跡からメロン類の種子が出土しています。弥生時代は小粒種子が多いですが奈良・平安時代から出土する種子は一転、大形化します。鎌倉時代以降は現在のマクワウリ、シロウリと同程度の大きさの種子に変わっており品種変更があったようです。これらは熟瓜（ホゾチ）であり、メロンの変種であるマクワウリにつながる品種です。

わが国の温室メロンの栽培は明治初年にイギリス系のメロンの種子が導入されたことから始まります。温室メロンは俗にネットと呼ばれる網目の模様を持った美しい外観と独特の芳香ととけるような肉質と甘味を兼ね備えており栽培技術が難しいこともあり果物の王様と呼ばれ、戦前に贈答用、高級料理店用として小規模な栽培が定着しました。戦後に復活し、国民生活の安定と向上、品質の改良、栽培技術、資材の進歩に伴って栽培が増加しました。

網メロンは果実の表面に網目模様を生じるので、この名があります。

この網目（ネット）は一種の割れ目で外皮がはち切れ裂果が生じます。網メロンの網目も一種の裂果ですがこの網目が美しく表れるような成長をした場合に肉質がよく甘味も出ます。ネットが出ることは外観が美しいばかりでなく味のよいことも示しているといえます。ネットの出方には土壌水分の多少が関係し、成熟期にやや乾燥気味にして育てた場合、ネットも品質もよい果実ができます。

元来ヨーロッパ系のメロンは雨の少ない地域で成立した品種であるため雨の多いわが国では病害が発生し栽培は室内でなければ難しいです。メロンは通常、温室で栽培しますが温室は温かくすることよりも雨の降らない状態で育てることに大きな意義があります。日本では果肉の緑色のアールスメロニックという品種が以前から栽培された関係もあって緑肉品種が多いですが、黄肉品種、紅肉品種もあります。

#### 参考文献

日本のふるさと野菜（一般社団法人日本種苗協会発行）

日本の野菜文化史事典（青葉高著 八坂書房2013）

愛知県園芸発達史（愛知県園芸発達史編さん会）

あいち在来種保存会・野菜ソムリエの「あいちの伝統野菜」（ブログ）

愛知県HP愛・地産・アラカルト 農業水産局農政部園芸農産課

## 編集後記

コロナウイルス感染症対策の密を避けるため、本年度の研修会は昨年引き続き中止となりました。早期に再開されることを願います。変異ウイルスの蔓延で、患者が急増し、それに伴い重症者も増えてきました。農業は密を避けて作業することができますが、変異ウイルスは強力なワクチン接種してもかかる場合がありますので、コロナウイルス感染症対策をしつつ援農をお願いします。これからも暑い日が続きますので、援農中の熱中症対策もおこたりにく。今期は農楽会発足20年行事に向けて準備が進んでいます、皆様の協力をお願いします。

発行 なごやか農楽会事務局（水野・川合） 令和3年8月20日発行

なごやか農楽会は、名古屋市内の農家のお手伝いを主な活動とする農業ボランティアグループ。

会員は、全て農業ボランティア育成講座修了生です。